

蒲生干潟の地形調査②⑥

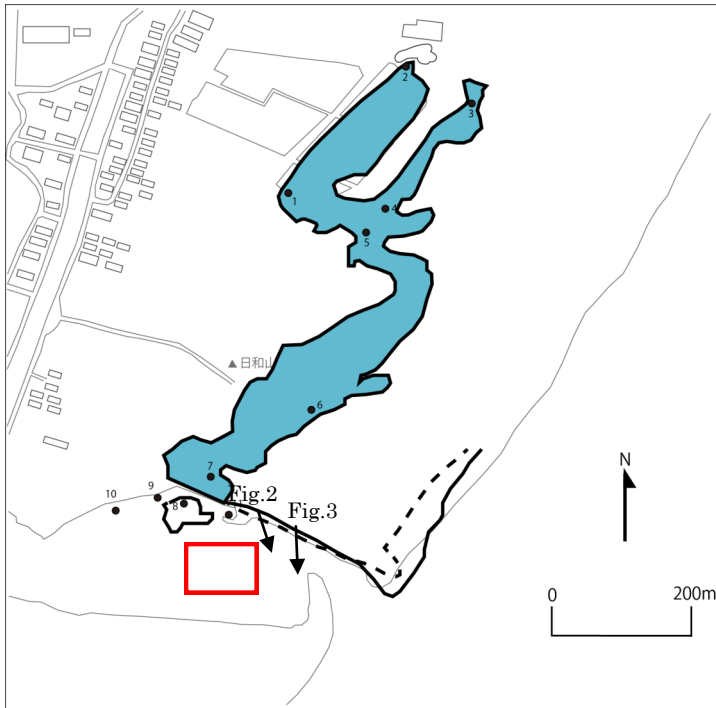


Fig.1 GPSによる簡易測量結果



Fig.3 川の流れによって西側が侵食された右岸の砂州

Table.1 塩分濃度

	6月9日	8月22日	増減
ST.1	2.1	2.3	0.2
ST.2	2.2	2.0	-0.2
ST.3	2.2	1.6	-0.6
ST.4	2.4	2.2	-0.2
ST.5	2.5	※	※
ST.6	2.5	2.2	-0.3
ST.7	2.5	2.2	-0.3
ST.8	1.8	1.9	0.1
ST.9	0.8	0.6	-0.2
ST.10	0.9	※	※
ST.11	※	※	※



Fig.2 拡大した河口付近の砂州（西側より撮影）

調査日 2017年8月22日（金）10：00～11：30 ※干潮時刻10：01（潮位21cm）

干潮の時間帯に調査を行った。GPSによる簡易測量の結果から、潟湖の形は6月9日の調査とほぼ変化がなかった。Fig.1の破線の部分は6月の調査の海岸線のようなすであり今回の調査では海岸線は東側まで大きく拡大していた。

塩分濃度調査 (Table.1) では6月と比べ低くなっているところが多く、8月の長雨による雨量が影響していると考えられる。

河口付近では、導流堤通水部分の南側の砂州と Fig.1の赤で囲われた付近の砂州が拡大していた (Fig.2)。右岸側の砂州は川の流れによって西側が侵食が顕著であった (Fig.3)。

(中田 晋)